



開催日	令和6年9月28日(土)	行政区	山王山	参加人数	22名
時間	午前9時30分～10時35分	関係機関	五霞土地改良区、茨城むつみ農協五霞支店、農地中間管理機構		
当日出た意見	・地区として自作農家がまだ多いエリア。 ・機械の更新が難しい。今こそ生産組合が必要かもしれない。 ・境内地などの陸田について、今後転作交付金の問題がでてくる。 ・今後集約するにも、太陽光パネルが邪魔にならないようにする必要がある。 ・農地を集積するにも、境界杭の問題がある(費用面など)。 ・受け手の余力が心配である。 ・担い手(受け手)としては、1区画30アール程度が理想。 ・農地を貸した際、土地改良費の地主負担を見直すことはできないか？ ・小作料の統一など、町としての統一ルールをつくる必要があるのではないかな？ ・将来に向けて、徐々に担い手へ集積していき、集約しやすい農地にする。				
当日の様子					